

徳山工業高等専門学校		開講年度	令和03年度 (2021年度)		授業科目	歴史
科目基礎情報						
科目番号	0034		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	機械電気工学科		対象学年	2		
開設期	通年		週時間数	2		
教科書/教材	『詳説世界史B』（山川出版社）/『グローバルワイド最新世界史図表』（第一学習社）/『高校世界史基本用語問題集ツインズ・マスター』（山川出版社）/『日本史A現代からの歴史』東京書籍/『日本史Aワークノート』東京書籍					
担当教員	柏倉 知秀					
到達目標						
(1)近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について理解できる。 (2)帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について理解できる。 (3)第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に理解できる。 (4)19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を理解できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について考察できる。	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について説明できる。		近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について理解できる。		近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について理解できない。	
帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明できる。		帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を理解できる。		帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を理解できない。	
第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に説明できる。		第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に理解できる。		第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に理解できない。	
19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。		19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を理解できる。		19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
到達目標 A 2						
教育方法等						
概要	1年の世界史で扱えなかった19世紀以降から第1次世界大戦までの世界の歴史について学び、その後、19世紀以降の日本の歴史について学ぶ。 国際化が進む中で、自国の歴史や文化を習得する必要性が高まっている。これからの国際社会で生きていく上で必要な教養として、日本の歴史について講義する。					
授業の進め方・方法	予習として教科書を事前に読んでおくこと。授業中はたくさん板書するので、自分で毎回きちんとノートを取ること。 復習として『ツインズ・マスター』や『ワークノート』をしておくこと。					
注意点	成績評価式：4回の試験の平均点（90％）＋課題点（10％）					
授業の属性・履修上の区分						
☐ アクティブラーニング		☐ ICT 利用		☐ 遠隔授業対応		☐ 実務経験のある教員による授業
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	欧米における近代国民国家の発展		ナポレオン戦争とウィーン体制について理解する	
		2週	欧米における近代国民国家の発展		ヨーロッパの再編について理解する	
		3週	欧米における近代国民国家の発展		南北アメリカの発展について理解する	
		4週	帝国主義とアジア		西アジアの変容について理解する	
		5週	帝国主義とアジア		南アジア・東南アジアの植民地化について理解する	
		6週	帝国主義とアジア		東アジアの激動について理解する	
		7週	帝国主義とアジア		帝国主義と列強対立について理解する	
		8週	中間試験 前期中間試験の解答・解説		上記の内容から出題する 試験の解答と解説	
	2ndQ	9週	国際環境の変化と明治維新		1 9 世紀の日本について理解する	
		10週	国際環境の変化と明治維新		開国と倒幕について理解する	
		11週	国際環境の変化と明治維新		明治新政府の諸改革と社会の変化について理解する	
		12週	国際環境の変化と明治維新		明治初期の外交と反政府運動について理解する	
		13週	近代国家の成立と国際関係の推移		自由民権運動の展開について理解する	
		14週	近代国家の成立と国際関係の推移		立憲体制の成立について理解する	
		15週	期末試験		9 回～14回の内容から出題する	
		16週	答案返却など		試験の解答と解説	
後期	3rdQ	1週	近代国家の成立と国際関係の推移		日露戦争前後の世界と日本について理解する	
		2週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本		帝国日本について理解する	
		3週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本		第一次世界大戦について理解する	
		4週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本		政党政治について理解する	
		5週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本		軍国日本への通について理解する	

		6週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	第二次世界大戦について理解する
		7週	両世界大戦をめぐる国際情勢と日本	太平洋戦争と日本について理解する
		8週	中間試験 後期中間試験の解答・解説	後期1回～7回の内容から出題する 試験の解答と解説
	4thQ	9週	現代世界と日本	日本の戦後改革について理解する
		10週	現代世界と日本	日本の再建と復興への通について理解する
		11週	現代世界と日本	日本の再建と復興への通について理解する
		12週	現代世界と日本	米ソ二極化構造の世界と国内の再編について理解する
		13週	現代世界と日本	高度経済成長の時代について理解する
		14週	現代世界と日本	冷戦の終焉と日本について理解する
		15週	期末試験	後期9回～14回の内容から出題する
		16週	答案返却など	試験の解答と解説

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	社会	地理歴史的 分野	近代化を遂げた欧米諸国が、19世紀に至るまでに、日本を含む世界を一体化していく過程について、その概要を説明できる。	3	
				帝国主義諸国の抗争を経て二つの世界大戦に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、平和の意義について考察できる。	3	
				第二次世界大戦後の冷戦の展開からその終結に至る日本を含む世界の動向の概要を説明し、そこで生じた諸問題を歴史的に考察できる。	3	
				19世紀後期以降の日本とアジア近隣諸国との関係について、その概要を説明できる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	90	0	0	10	0	0	100
基礎的能力	90	0	0	10	0	0	100
専門的能力	0	0	0	0	0	0	0
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0